

# 授業科目 基礎看護学実習 I

【担当教員名】 石塚 敏子、佐藤 信枝、川崎 久子、 高橋 智美 他		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 看護の対象とする人々の生活および看護の実際を理解する。さらに、看護を必要としている人との関わりを通して、援助的人間関係を理解し、その人のニーズに応じた日常生活援助の方法を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入院患者の日常生活とその環境について知ることができる。(I-a)</li> <li>2. 入院患者に行われている看護について知り、看護の役割を考慮することができる。(I-a)</li> <li>3. 対象者と援助的人間関係を築くことができる。(I-b)</li> <li>4. 対象者のニーズを理解することができる。(I-b)</li> <li>5. 対象者の安全、安楽に配慮し、日常生活の援助の一部が経験できる。(I-b)</li> <li>6. グループ運営に積極的に参加し、実習の学びを発展させることができる。(I-b)</li> <li>7. 看護をする人として、適切な態度をとることができる。(I-a、I-b)</li> <li>8. 実習での学びを通して、今後の課題を明確にすることができる。(I-a、I-b)</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学内オリエンテーション</li> <li>2. 病院・病棟オリエンテーション</li> </ol> I-a (見学実習) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 入院患者の日常生活とその環境について知る</li> <li>2) 入院患者に行われている看護について知り、看護の役割を考慮</li> <li>3) カンファレンス</li> <li>4) 課題レポートの作成</li> <li>5) 実習の評価、今後の課題の明確化</li> </ol> I-b (病院での実習) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 一人の患者を受け持ち実習を行う</li> <li>2) 対象者の基本的ニーズを理解し、日常生活の援助を実施する</li> <li>3) 実施した援助のふり返り</li> <li>4) カンファレンス</li> <li>5) 課題レポートの作成</li> <li>6) 実習の評価、今後の課題の明確化</li> </ol>				実習グループを編成し、各実習施設で実習を行う (基礎看護学全教員)
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料	看護学臨地実習共通要項 基礎看護学実習 I 要項 配布資料				
【評価方法】 実習内容：80% 課題レポート：20%		【履修上の留意点】 ・見学実習である I-a (前期) と I-b (後期) に分けて実施する。 ・対象者の安全の確保やプライバシーの保護など、倫理的な配慮に十分留意する。 ・援助的人間関係論、日常生活援助技術、フィジカルアセスメントについて、事前に十分学習する。 ・原則として実習オリエンテーションを受けなければ、実習には出席できない。 ・この科目は、フィジカルアセスメント、基礎看護技術 I を履修していることが前提である。			